

12 インドネシア

小規模灌漑管理事業(第2期)



本事業により整備された2次・3次水路(南スラウェシ州)

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	8,135百万円 / 8,076百万円
借 款 契 約 調 印	1994年11月
借 款 契 約 条 件	金利2.6%、返済30年(据置10年)
貸付完了	2000年12月

[事 業 概 要]

インドネシア東部に位置する西ヌサテンガラ、東ヌサテンガラ及び南スラウェシの3州において小規模な灌漑開発を行うことにより、米その他の農産物増産を図り、もって農民の所得水準の向上及び貧困軽減に寄与するもの。

[評 価 結 果]

本事業により、ダム及び頭首工等の建設による表流水灌漑サブ・プロジェクト、及び地下水灌漑サブ・プロジェクトが実施され、総灌漑面積は、15,786haに及んだ。その結果、米の作付面積は、計画値17,925haに対し、実績は19,631haと計画水準を約10%上回った。他方、雑穀の作付面積は、計画値9,897haに対し、実績は、9,556haとなった。今次評価調査にて訪問した南スラウェシ州及び西ヌサテンガラ州の2件のサブ・プロジェクトにおいて、いずれも農業生産性の飛躍的向上により、農業機械の購入や子供の教育水準向上、土地家屋の保有等、地域農民の生活水準の向上が確認された。

本事業では、計画段階から農民の参加を図り農民組織の育成を支援するなど、参加型アプローチを取り入れている。事業完成後も施設は概ね良好な状態で、農民水利組合による維持管理体制が十分確立されている。